



2023年11月9日
第59号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



イーハトーブ

11月10日号

十月二十三日に関会した第二二二回臨時国会の所信表明演説で岸田首相は「変化の流れを掴み取る」ための「一丁目一番地」は経済であると述べ、「経済、経済、経済」と三回にわたり繰り返して述べ、「経済」が重要であると強調しているが、果たしてその言葉はどこに向けられたものだろうか。

日経平均株価は十年前と比較して約二倍に上昇したが、私たちの賃金はほぼ横ばいで、しかも物価高が追い打ちをかけるかのように支出が増大し、実質賃金は低下している。その一方、日経平均株価に裏打ちされるかのように、企業は儲けを生み出しているにもかかわらず労働者には転嫁されていない状況が続いている。

岸田首相は臨時国会の中で「減税」を打ち出し、国民に還元していくと言っているが、元を辿れば私たち労働者が得た賃金から出されたものであり、たとえ還元されたとしても物価高に対応できるだけの賃金が増えなければ私たちの生活は困窮していくばかりである。減税論で還元されると私たちを騙し、その次に来るのは軍備増強のための「増税」である。ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル軍とガザ地区ハマスの戦闘による世界情勢の悪化、さらには台湾有事に備えた南西諸島の防衛力強化のために防衛費を増額すると打ち出している。減税で経済がまわり始めたら増税するという矛盾と、増税によって賄われる防衛費によって私たちが戦争協力に巻き込まれることを許してはならない。

私たちが平和で安心して暮らせる社会を実現するために、自らの価値観を出し合い、議論する場をつくっていきましょう！(A・E)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していきましょうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。